



森ボラ 通信

第 213 号 2019 年 10 月 20 日発行

NPO 法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸 1 条 1 丁目 8-8 ラルズ生活研究センター

TEL (fax): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

■ トピックス

◆ CGC 鳥柵舞の森で CGC ジャパン遊玄会視察記念行事

今年 CGC ジャパン創立 40 周年の節目の年。10 月 1 日、これぞ北国の秋と感じさせる爽やかな天候の下、7 年ぶりに CGC ジャパン遊玄会の皆さん 23 名が CGC 鳥柵舞の森を訪ねられました。

横山理事長、堀内社長はじめバスを降りた皆さんの目に映った風景は 2012 年の植栽当時の風景とオーバーラップさせながら・・・年月の速さを感じたのでは。皆さんが植えたアカエゾマツは当時 30cm 程でしたが、7 年の歳月で 150cm 超えに育ちました。2012 年から 2016 年の 5 年間で多くのボランティアの皆さんが植えた木はアカエゾマツ 6,200 本と広葉樹類 5,700 本となりました。

この森の象徴の印であるチャランケシャチの丘と大看板そしてシンボルツリーのアカエゾマツを背に記念写真。そのあと皆さんは 7 年前に植栽された方の名前が書かれたプレート列に移動し、成長したアカエゾマツと一緒にスマホでパチリ。2004 年の台風で甚大な被害を受けた森の復興に向けて中心的に携わって来た酒井さんからこの植栽地の誕生から現在に至るまでの経緯の話を聞き、思いを新たにして強風に強い森になりつつある鳥柵舞の森を後にしました。お手伝いを頂いた 4 名のメンバーとこの式典の準備に奔走された北海道 CGC みどりところの基金谷口事務局長他皆さんに感謝いたします。（文・事務局）



■ 活動報告

◆ 2019 年度研修旅行（北大中川研究林・下川町有林視察）に参加して

皆さんこんにちは。9 月 25～27 日に研修旅行に参加したので報告します。

<9 月 25 日>

日本酒 4 本を両手に持ってヨタヨタしながら、札幌駅北口に 7 時 45 分の集合時間ギリギリ間に合う。既に皆さんお待ちかねのご様子。さすが年寄り！もとい、人生の熟練者！順調にバスは進み、ほぼ定刻に音威子府に到着。昼食後、北大音威子府庁舎到着。技術スタッフの伊藤悠也さんがテキパキと仕切ってくれて助かった。

中川研究林の概要を林長（リンチョウ）である野村助教から説明を受ける。札幌農学校時代は一帯の演習林を研究資金捻出のための商用林として運用していた事。音威子府から中川町へバイパス

を建設中で、そのバイパスが研究林を横切るので当初は反対していたが周りから白い目で見られたので条件付きで賛成したものの、完成予定が蛇紋岩（とても脆いらしい）に阻まれまだ開通の目途が立っていない事等々が大変興味深かった。野村先生は森林が専門ではなく、生態系における水循環の研究者だとの真正直な言い訳に学者さん気質を感じ取って懐かしさにホッコリ。

説明後マイクロバスに乗って「有賀の沢造林団地」へ移動

ここで吉田俊也教授が途中参加し、ヤチダモ造林地を視察。大正初期に山に自生している苗（山引き苗と言う）を集めて植林したが、良いタイミングで間伐できず、遅くに間伐した為に「時スデニ遅し」で100年も経っているのに、ひょろ長〜い木が大半だった。でも太い木は真っ直ぐスラッと伸びていてカッコ良かった。ヤチダモは樹高30mで約1立米換算だそうで市場価格は3万円とか。ただ去年の銘木市に出品したら20万円の値が付いたそう。ビックリ！



次に、上音威子府にある照査法試験林へ移動

ここでビックリ、なんと面積113haの広大な森林（異齡混交林）4万5千本（内胸高直径12.5cmは3万6千本）を11の区画（1つは伐採しない区画）に分けて毎年1つの区画全ての木を1本ずつ調査し、翌年伐採対象を伐採する。この方法を50年も続けているというのだ。確かに木を見ると胸の高さあたりに金属プレートが張られてある。ト根性。まさか澄川でやりたいなんて事考えてないですよー！ 滝汗(ー;) 僭越ながら申し上げます。我々はボランティアです。研究者ではありませんよー！ お願いしま〜す。

宿舎到着！ 風呂の後夕食の時間です。はやる気持ちで食堂に行くと、何やらスーツ姿の御仁が！ 何と中川町の石垣町長以下5名の職員さんが名刺を配っているではありませんか！ しかも5名全員が我々18名全員に名刺を配って回りました。企業関係者なら兎も角、我々は棺桶に片足突っ込んでいるボランティアだぞー！ あんまり期待しないでよと思いつつ、中川町を何とかしたいとの必死さが伝わってきました。確かに製材工場のない町で酪農も27戸、これじゃあ産業の循環も難しいですなあ！ 石垣町長頑張れ！ 中締め後は2階の広間で二次会開始！ 何と吉田教授も参戦し盛り上がりました。

<9月26日>

朝食後、宿舎から歩いてスグのところの通称ジャングルジムへ！ 単管パイプをダケカンバの周りに組み上げて、根元にヒーターを張り巡らして地中温度を上げて他の木との成長度合いを比較する「温暖化操作実験」装置との事。土温めるだけじゃ片手落ちみたいな気がするのはシロウトの取り越し苦労か？

8時30分 クラフト工房見学

ここでも中川町産業振興課の平木課長が案内してくれた。昔あった保育園の中を工房に使っており、綺麗な女性作家さん3名が木工細工、樹皮細工、かご編みを夫々専門に取り組んでいる。特に木工の工作機械が充実している。羨ましい！ 建物の外には暖房に使う薪が積み上げてあった。とてもキレイだ！ どうして澄川の薪もここみたいにキレイに出来ないんだろうか？

10時半移動開始。中川町の皆さんお世話になりました。そして北大の伊藤さん視察スケジュールから部屋割り、宴会まで大変大変お世話になりました。

13時 下川町まちおこしセンターコモレビ到着

下川町の概要説明を受ける。この町は2008年に早々と環境モデル都市の指定を受け、2018年にはSDGs未来都市に選定されたいわゆる優等生の町だ。SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で（エス・ディー・ジーズ）と読む。林業を総合産業として循環型の経営が成り立っており、エネルギー自給率も熱自給率は49%と非常に高い。ただ残念なのは森林の85%は国有林で町有林はほんの僅かに8.3%だという事だ。ただ少しずつ国有林を買っているようなので盤石な経営が持続できれば少しずつ増えていくのかな？



説明の後「溪和町有林」（トドマツ人口植栽密度試験林）を視察

昭和 35 年から無間伐状態での植栽密度の影響を調査するため 3 種類の密度で長期間調査しているとの事。また別の区画では植樹後 5 年、10 年、60 年と地域毎に管理されていたが、1m の大苗を植えた所は下草刈りをしなくても生長が良いとの例が興味深かった。

<9 月 27 日>

9 時 00 分 定刻通り出発し名寄の旧・浅江島農場の開拓記念木（ハルニレ）を見学

樹齢推定 500 年で農場の神木とされてきたハルニレ。確かに迫力を感じるが先端は折れ、樹皮は剥けてしまって何か切なさを感じてしまった。

13 時 15 分 外国樹種見本林（三浦綾子記念館併設）見学

やはり森ボラのメンバーは三浦綾子には目もくれず林の中へ！ この林は外国樹種が北海道でも育つか観察するために 1898 年に植栽された北海道で最も古い外国樹種人工植栽地だそうで、ストロームマツやルブラカエデ、ヨーロッパカラマツなど 18ha の敷地に 52 種の樹木が 6,000 本も植えられている。林の中を歩いているとエゾリス、キタキツネに出会う。そして野鳥のコガラが数十センチの近さで我々を挑発するように大きな声で鳴いていた。木製チップに敷き詰められた歩道はマッタリと歩くにはもってこいだ。ゆったりとしたところで後は札幌に向けゴー！

16 時 30 分 札幌北 1 C 渋滞で定刻より少し遅れ札幌到着。

皆さん大変お疲れ様。幹事さん本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。（文・松藤）

■ 澄川の自然

ヨブスマソウ(夜衾草) キク科

7 月 21 日、親子森林教室の時、特別講師としていられていたコウモリの写真家中島さんのお話ではヨブスマソウの葉が枯れて丸まった所にコウモリが寝ていると云う事でした。

今までどこかでヨブスマソウという言葉は聞いていてもどんな植物か知りませんでした。気を付けてみていると避難小屋のそばで見付けました。背丈 2m 以上はある三角形の大きな葉っぱです。ヨブスマとはコウモリの事で葉の形が肢間の皮膜を広げて飛ぶコウモリに見たてて付いた名前と云う事です。又、ヨブスマソウの仲間にモミジ傘別名シドケがあります。支笏湖、水明郷で見る山菜です。（文・西野澄子）



忘年会のご案内

（幹事：酒井・清澤）

今年の忘年会は下記要領で開催しますのでたくさんの方の参加をお待ちしています。

- ・日 時 2019 年 12 月 10 (火) ~11 (水) 日 1 泊 2 日
- ・場 所 源泉かけ流し なんぼろ温泉 (南幌町南 9 線西 15 番地 TEL011-378-1126)
- ・会 費 10,000 円
- ・集合場所 14:50 札幌駅北口愛の鐘広場 (15 時出発)
15:30 新札幌ホテルエミシア向い (地下鉄東西線 9 番出口)

※仕事現役の方等は自家用車使用または別途送迎等も可能ですので幹事または事務局までご相談ください。

- ・参加申込 11 月の作業参加申込書で申し込んでください。（締切は 11 月 10 日）

■ 今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・釣井・三橋・矢澤・矢野

1. 2019年11月、12月スケジュール(11月幹事会11月8日(金))
2. 2019年9月会計報告
3. 第5回親子森林教室:10/22「木を育て森の恵みを味わう」苗づくり、マイルフ、森歩き、森の恵み他
4. 森林・山林多面関係:事業の進捗状況報告、参考図書2冊購入
5. 澄川南小対応:今後の予定10~3月までに澄川他森林教室6回、学校授業支援4回
6. 2020年度子どもゆめ基金助成説明会:10/10 かでる2,7にて…清澤・市山参加
7. 報告
 - ・ 9/8 道民の森づくりの集い in 2019:今年度の反省と来年度の出展内容検討
 - ・ 9/13,14 都市緑化機構(緑の都市賞)視察2名、三重県いなべ市畑新田共有林運営委員会研修9名
 - ・ 10/1 CGCジャパン遊玄会烏柵舞の森視察訪問23名:協会側4名で対応
8. 現場対応他
 - ・ 10/4 澄川右精進川水質調査:雨のため中止(11/12に延期)
 - ・ 10/11 水明郷植樹(協会独自):トドマツ植樹390本、モニタリング調査
 - ・ 10/12 烏柵舞育樹祭(オイスカ・ユネスコ主催)協力:アカエゾ植樹90本、シカンバ除伐、森林教室
9. その他
 - ・ 研修旅行報告:9/25~27:北大中川研究林、中川町クラフト工房、下川町溪和町有林他研修
 - ・ 第2回理事会:11/21(木)15:00ラルズ本社ビル開催
 - ・ 忘年会:12/10,11:南幌温泉予約
 - ・ 木道用カラマツ材(2000*250*50)45枚購入:了承

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
9月17日(火)	澄川	12	コシアカア萌芽処理、マイルフ看板用杭作り
9月19,20日	烏柵舞(コンサの森)	13	下草・笹刈り、育樹祭・CGCジャパン視察準備
9月23日(月)	澄川	-	雨のため活動中止
9月25~27日	研修旅行	18	北大中川研究林、下川町溪和町有林他研修
9月29日(日)	澄川	9	木道点検、ホダ場・野草園整備
10月1日(火)	烏柵舞の森	4	CGCジャパン遊玄会烏柵舞視察
10月2日(水)	ラルズ生活研究C	10	幹事会
10月4日(金)	澄川	-	雨のため活動中止
10月7日(月)	有明	8	食害防止網・雪害防止杭設置、モニタリング調査
10月9日(水)	澄川	16	木道の補修、苗畑整理、森林教室準備
10月11,12日	烏柵舞(水明郷の森)	18	オイスカ・ユネスコ育樹祭(植樹、シカンバ除伐)49名参加 補植作業
10月16日(水)	西野第二	6	作業道整備、整理伐